

レジ袋、断っていますか？

滋賀県と県内各市町では、小売店と協力して、4月から、県内の24事業者153店舗（事業者数、店舗数は、平成25年10月時点でのものです）で、レジ袋の無料配布を中止して有料にする取り組みを始めました。

これまでの成果

市内で取組を実施している店舗で買い物をしたとき、レジ袋の配布を断った人は、3月までは全体の約50%でした。

その後、取組を開始した4月は約87%、7月には約89%の人がレジ袋を断っています。

これは、県内の市町の中で、上から3番目の割合です。9月からは新たに県内10事業者の協力を得て、取組を進めています。

レジ袋を減らしてゴミの減量を！

レジ袋の有料化と同時に、買い物にマイバッグを持って行く人が全体の80%以上になるよう、店舗での呼びかけなどを行っています。

レジ袋は容器包装プラスチックとしてリサイクルできますが、燃やすごみに混ぜられて出されています。

レジ袋を分別する以外にも、ごみとして出されるレジ袋自体を減らす努力が必要です。

使い捨てのレジ袋から、何度も使えるマイバッグへの切り替えに、今後もお協力をお願いします。